

かつしか 区議会だより

第2回定例会

6月12・13日	本会議（一般質問、議案の付託等）
16～19日	常任委員会
23～25日	特別委員会
27日	議会運営委員会
30日	本会議（議案の議決等）

主な内容 2・3面…一般質問
4面…可決された議案ほか

NO.194 平成20年(2008年) 7月25日発行 葛飾区議会 〒124-8555 葛飾区立石5-13-1 ☎ 3695-1111 FAX 5698-1543



水元公園小合溜 サギ

「クールアース・デー」(地球温暖化防止

の日)の創設等を求める意見書を可決

今回の定例会では、9名の議員から区政一般質問が行われました。また、特別区税条例の一部を改正する条例をはじめとする区長提出議案等18件と、「クールアース・デー」(地球温暖化防止の日)の創設を求める意見書(下欄参照)などの議員提出議案8件が可決されました。このほか、請願1件が採択されました。

可決された意見書(要旨)

今回の定例会では次の意見書8件を可決し、関係機関に送付しました。
(件名の下の方は意見の分かれた意見書です。各会派の賛否は4面に掲載)

「クールアース・デー」(地球温暖化防止の日)の創設等を求める意見書

政府に対し、次の事項を強く求める。①北海道洞爺湖サミットの開催初日の7月7日を「クールアース・デー」と宣言し、地球温暖化防止のために啓発し、皆で行動する日と定めること②当日は二酸化炭素削減のため、電力の使用を一定時間控えるライトダウン運動などの啓発イベントを開催し、地球温暖化防止のために行動する機会を創出に努めること③クールビズやウォームビズについては認知度を深めるとともに、温度調節などの実施率を高めること④「チーム・マイナス6%」などの国民参加型運動の一層の普及促進を図り、国民運動に対する協賛企業の拡大や、エコポイント制度の普及促進に努めること⑤カーボンオフセットいわゆる温室効果ガスの相殺については、関係者による協議体をつくり、その信用性を高めること

日本映画への字幕付与を求める意見書

政府に対し、次の事項を強く求める。①情報バリアフリー化のため、日本映画や日本語映像ソフトコンテンツへの字幕付与を義務付けること②誰にでも理解できる字幕付与が行えるよう一定の規格・規定を定めたガイドラインを策定すること

携帯電話リサイクルの推進を求める意見書

政府に対し、次の事項を強く求める。①携帯電話の買い換えや解約時に、携帯電話の回収を促進するために必要な法整備を行うこと②携帯電話ユーザーに対する啓発、携帯電話回収促進につながる企業・団体の取り組みを支援する施策を行うこと③ACアダプターなどの充電器の標準化や取扱説明書の簡略化などによる省資源化を実現すること④レアメタルなどの高度なリサイクル技術の開発に加え、循環利用のための社会システムの確立を目指すこと

新型インフルエンザ対策の強化を求める意見書

政府に対し、次の事項を強く求める。①希望する国民全員分のプレバンデミックワクチンを早急に備蓄すること②備蓄した医薬品、医療資機材を、円滑に区市町村に供給できる体制を早急に確立すること③外来診療、入院医療を確保すること。また、自治体が設置する発熱センターなどの診療所が円滑に運営できるよう、必要な条件整備を早急に行うこと④基礎自治体の首長の要請に応じて、地区医師会などの地元医療関係者が積極的に協力できるような体制を法的に整備すること⑤電気、ガス、水道などのライフラインの確保や社会機能を維持する業務の従事者への対策を、国が率先して取り組むこと⑥新型インフルエンザに対する十分な啓発と、発生後における国民への迅速かつ確実な情報提供を行うこと

自殺防止の総合対策を推進する意見書

政府に対し、自殺総合対策大綱に掲げる施策をより強力に推進するなど、自殺防止対策の一層の強化を強く求める。

後期高齢者医療制度の改善を求める意見書

政府に対し、次の事項を強く求める。①高齢者の生活実態を踏まえた保険料軽減策の徹底を図ること②人口構成に占める後期高齢者と現役世代の比率の変化に合わせた後期高齢者の保険料負担率の改定方法については、高齢者の負担能力に配慮したものへと見直しを図ること③高齢者が安心して必要とする医療を受けられるよう、医療の制限につながりかねない後期高齢者終末期相談支援料や高齢者担当医制度について、再検討すること④保険料の年金天引きについては、本人の選択制とするなど、保険料納入者の意思を尊重できるような内容とすること

温室効果ガス削減中期目標を積極的ににかかげることを求める意見書

政府に対し、京都議定書で義務付けられた2012年までの1990年比6%削減目標の確実な達成のためにも、積極的な温室効果ガス削減中期目標をかかげるよう、強く求める。

違法・有害情報から子どもを守るための総合的な施策の推進を求める意見書

政府に対し、違法・有害サイトの利用防止のための活動を行う団体に対して財政支援を行うとともに、フィルタリングソフトなどの技術開発、水準維持にかかる支援を行うなど、子どもたちをインターネット上の違法・有害情報から守るための総合的な施策を推進することを強く求める。

政治家の寄附は、禁止されています。また、暑中見舞等時候の挨拶状(答礼のための自筆のものを除く)を出すことも禁止されています。

議員等政治家が、お祭り、親睦旅行会、会合などの行事に寄附や差し入れ等をしたり、お祝い金(出産・新築等)、贈り物(お中元・お歳暮等)をすることは、公職選挙法により罰則をもって禁止されており、要求した人も罰せられます。

区政を聞く 一般質問(要旨)

詳しい内容は、会議録(8月下旬発行予定)をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー(区役所3階)、図書館などでご覧になれます。

民主党 葛飾

接遇体制と自動二輪車の駐車対策

接遇

問 区民からのクレームをどのように施策やサービス向上に生かしているのか。今後は、どのように生かしていくのか伺う。

答 従前から職場内でクレーム事例を分析・検討することにより、改善などにつなげてきた。今後は、より積極的に受け止め、有用な意見を施策に生かすことができる体制を整えられよう検討していきたい。

問 外部機関に依頼し、職員の研修後の接遇に対する診断や検証を行うべきと考えるがいかがか。

答 研修で体得した接遇スキルが職場でどう実践されているかを診断し検証することは重要である。今後、診断検証の有効な方法について研究していく。

※他の質問項目 接遇要員の育成体制と今後の計画 など

自動二輪車の駐車対策

問 区では自動二輪車の駐車場問題について、どのような認識で取り組もうとしているのか。



駐車風景

答 違法駐車防止とともに自動二輪車利用者の利便性の向上を図り、安全で快適な交通環境を整備するため、ドライバードライバーのモラル向上の指導・啓発活動を行い、駐車場の整備に取り

組んできた。今後とも、社会状況の変化や利用状況などを把握し、自動二輪車駐車場の整備を図っていく必要があると考えている。

問 区民からのクレームをどのように施策やサービス向上に生かしているのか。今後は、どのように生かしていくのか伺う。

答 従前から職場内でクレーム事例を分析・検討することにより、改善などにつなげてきた。今後は、より積極的に受け止め、有用な意見を施策に生かすことができる体制を整えられよう検討していきたい。

問 外部機関に依頼し、職員の研修後の接遇に対する診断や検証を行うべきと考えるがいかがか。

答 研修で体得した接遇スキルが職場でどう実践されているかを診断し検証することは重要である。今後、診断検証の有効な方法について研究していく。

問 区では自動二輪車の駐車場問題について、どのような認識で取り組もうとしているのか。

答 違法駐車防止とともに自動二輪車利用者の利便性の向上を図り、安全で快適な交通環境を整備するため、ドライバードライバーのモラル向上の指導・啓発活動を行い、駐車場の整備に取り

組んできた。今後とも、社会状況の変化や利用状況などを把握し、自動二輪車駐車場の整備を図っていく必要があると考えている。

自由民主党議員団

地震や水害に対し、区民の生命と財産を守る対策と準備を

耐震化対策と総合庁舎の建替えの検討状況

問 保育園や幼稚園の耐震化対策は、どのような状況にあるか。

答 保育園は11園で耐震診断を実施し、補強が必要な10園のうち、8園で補強工事を実施した。幼稚園は昨年度診断を行い、2園で今年度実施設計、来年度補強工事を行う。

問 本庁舎整備の手法や資金計画などを早い時期から検討すべきではないか。

答 総合庁舎整備検討委員会を設置して様々な面から総合的に庁舎整備のあり方を検討していく。

問 都市計画マスタープランの改定

問 河川を活用した街づくりや、葛飾固有の地域、観光資源を生かした夢づくりの将来像を描く必要があると思うがどうか。

答 本区の地理特性や歴史的・文化的背景などを踏まえ、魅力的な街を形成する上で何が必要かを検証して、整備、開発及び保全を進める。

問 水元公園と新宿六丁目を結ぶ補助276号線を緑の回廊として創出してはどうか。また、街路樹整備は緑が実感できる樹木を選定すべきと思うが、今後の区の取り組みを伺う。



並木道

答 北部地域水と緑のネットワーク構想の中で、補助276号線を水元回廊として位置づけ区のシンボルとなるような並木道の検討を進めている。また、地域の特性をとりながら緑が実感できる樹木を選定する努力をする。

問 こみの積み残しゼロの取り組み体制と区民への周知方法を伺う。

答 広報紙やリサイクル情報紙の特集、収集曜日カレンダーの全戸配布、300回を超える説明会などを行った。今後もピラの全戸配布や集積所の掲示などのPRとともに、青空集会や戸別訪問による指導などを行う。

問 本庁舎整備の手法や資金計画などを早い時期から検討すべきではないか。

問 災害時の医療で、常に薬を使用している方への対応をどう考えているか。また、カルテカードなどの普及が必要であると思うがどうか。

答 慢性疾患の医薬品は備蓄していないので、当座の備えを呼びかける。また医師の処方箋や服薬方法などを記録するお薬手帳の普及・啓発を図る。

問 高齢者が住みなれた地域で生き生きと暮らすためには、身近な地域での支え合い、助け合いの仕組みの構築が必要と思うが区の考えを伺う。

答 第四期高齢者福祉計画策定の中で、身近な地域で人々とふれあい、互いに支え合い、助け合うことが可能となるような仕組み作りと施策展開を検討していきたい。

問 本区独自のパンフレットを全対象者に送付するとともに、常設の相談窓口を設置し、区民の不満や不安を取り除く努力を徹底していく。



高齢者の健康づくり

問 本区独自のパンフレットを全対象者に送付するとともに、常設の相談窓口を設置し、区民の不満や不安を取り除く努力を徹底していく。

問 本区として後期高齢者に対するプリアルフアの独自施策は考えられないのか。

答 安心して必要なサービスが利用できるような対策を講じていきたい。なお、健康事業については内容を充実して実施する。

問 本区独自のパンフレットを全対象者に送付するとともに、常設の相談窓口を設置し、区民の不満や不安を取り除く努力を徹底していく。

問 区民の不満や不安を取り除くためにどのような工夫や努力をして理解を求めているのか。また、十分なPRをして説明を行っているのか。

答 後期高齢者医療制度の十分な説明とプリアルフアの独自施策を

問 区民の不満や不安を取り除くためにどのような工夫や努力をして理解を求めているのか。また、十分なPRをして説明を行っているのか。

答 後期高齢者医療制度の十分な説明とプリアルフアの独自施策を

問 区民の不満や不安を取り除くためにどのような工夫や努力をして理解を求めているのか。また、十分なPRをして説明を行っているのか。

問 区民の不満や不安を取り除くためにどのような工夫や努力をして理解を求めているのか。また、十分なPRをして説明を行っているのか。

区政を聞く 一般質問(要旨)

詳しい内容は、会議録(8月下旬発行予定)をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー(区役所3階)、図書館などでご覧になれます。

葛飾区議会公明党

見直す必要があると考えを伺いたい。答区独自の調査を実施したり、改定検討委員会や議会の意見を踏まえ、ビジョンの検証を行う。

ユニバーサル社会の実現と元氣な子どもの育つまちづくり

ユニバーサル社会の実現と地域コミュニティのあり方

問ユニバーサル社会の形成のためには、施設の再編だけではなく、地域活動を支える各分野の人材の育成と活用が必要かと思うがどうか。

答自治町会などの地域の組織の人材育成を側面から支援していくとともに、生涯学習人材バンクの活用、地区センターなどで活動している方々とのネットワークづくりなど地域を支える人材の育成を積極的に行い、区民の誰もが、地域で生き生きと生活し、活動していけるユニバーサル社会の実現を目指していく。

食育の推進と栄養教諭の活用

問東京都に働きかけて、小・中学校への栄養教諭の配置を実現し、授業としての「食育」を推進していく必要があるかと思うがどうか。

答都に対し、来年度には、本区に栄養教諭が配置されるよう、強く要望していくほか、今年度から食育リーダーの指名や食育推進チームを設置しており、今後とも、食育の推進を図っていく。

その他の質問項目 栄養教諭資格を取得するための支援策 など

子どもを携帯電話による被害から守る施策の推進

問関係機関が連携して、携帯電話による被害から子どもを守る施策を積極的に進めるべきかと思うがどうか。

答警察署と連携して有害サイトへのア

クセスを制限するサービスの普及を進めているほか、学校では情報モラル教育に取り組んでおり、今後も積極的に進めていく。

元氣な子どもの育つまちの実現のための多世代交流の推進

問地域との連携や多世代交流のメリットを生かした事業を進めていくべきかと思うがどうか。

答高校生のボランティアの受け入れや児童の祖父母との交流など、就学前の児童がさまざまな世代との交流を持つ事業を進めているが、今後はこれまで以上に進めていく。

その他の質問項目 子育てひろば事業の推進状況 など

子どもたちが元気に暮らせるかつしかを目指して

ボール遊びのできる公園

問昨年の子ども区議会で、ボール遊びができる公園をつくってほしいとの要望が寄せられた。これに添えるために、ケージを公園に設置してはどうか。

答ケージを設置した区を調査した結果設置は、週末に多くの子どもに活用されている一方、夜間利用の騒音などの管理運営上の課題があった。また、門扉の開閉を行う地元の理解と協力が不可欠であることも再認識した。課題を踏まえ、利用ルールなどを整理し、公園の新設などの際には、メニューとして提案して、理解と協力が得られれば、要望を踏まえたケージを設置するなど、ボール遊びのできる公園づくりを進めていく。

児童虐待予防と子育て不安解消

問三重県いなべ市では、行政と家庭とが触れ合う機会をつくることを目的に、「出前ひろば」や「出前テントひろば」などを開設している。本区も、平成23年度に開設する(仮称)子ども総合センターで、同事業など

のきめ細かな取り組みをすべきと思う。見解を伺う。

答子育てひろばは、子育て中の親と子が気軽に集い、相談や情報提供を行う拠点として、家庭をサポートし、親の孤立防止や不安の解消を図っている。ひろば事業は、児童館などで積極的に取り組んでおり、同センターで実施するひろば事業と連携して「出前ひろば」などのきめ細かな取り組みについても、検討していく。



子育てひろば

その他の質問項目 いつでも相談できる体制の確立と周知 など

病児・病後児保育

問国は、病児・病後児保育の主管を厚生労働省の保育課に統一し、本格的に取り組む姿勢を示した。本区も、この問題に真剣に取り組むべきかと思う。見解を伺う。

答病後児保育は、子育て支援行動計画で、平成21年度までに7カ所の施設訪問回数800回を設定している。また、病児保育は、同計画に位置づけてはいるが、今年度利用者などの意見を十分伺い、22年度からスタートする後期子育て支援行動計画に位置づける。

その他の質問項目 病後児保育の受け入れ状況 など

日本共産党葛飾区議会議員団

差別医療の後期高齢者医療制度中止・撤回以外に解決策はない

後期高齢者医療制度

問後期高齢者医療制度に対して、多くの苦情が寄せられているなか、まだ適切な医療が受けられる制度だと言うのか。撤回以外に解決の道はないと思うが、見解を伺う。

答医療保険制度を将来にわたって持続可能なものにしていくために導入された制度であり、これまでも同様の医療サービスを利用できると考える。

その他の質問項目 資格証明書の発行は絶対しない など

第四期高齢者保健福祉計画と介護保険事業計画の見直し

問国のいい年りの参酌標準でなく、特養ホーム、老健施設など区の実情に合わせた計画にすべきである。

答介護保険事業計画における特養ホーム、老健施設などの介護保険サービス基盤整備については、本区の要介護者の人数など対象サービスの種類ごとの量の見込みなどを勘案して計画する。

その他の質問項目 特養ホーム建設に対する区独自の補助制度 など

区民の「格差拡大」を是正すること

問本区では、人材派遣を戸籍住民課や国保年金課の窓口案内など通常業務の代替にしているのではないかと改善を求めている。

答すべて労働者派遣法に基づいているもので、通常業務の代替として活用しているものではない。



国保年金課窓口

その他の質問項目 住民税の年金天引き反対 など

教育振興ビジョンの見直し

問学校選択制によって生み出された弊害を解決するために大胆に見直しが必要ではないか。

答それぞれの学校では、保護者や子どもたちから選ばれる学校づくりを目指して、地域の方々と連携し、特色や魅力ある学校づくり、子どもたちの個性や能力を十分に伸ばせる学校づくりに取り組んでいる。今後も円滑な学校選択制に努めていく。

その他の質問項目 クラスの少人数化など

指定管理者制度

問シンフォニービルズ、テクノプラザ、スポーツセンターの管理運営は、区が直接責任を持つべきではないか。

答各施設における指定管理者制度導入後の管理状況について、各所管部で評価を行い、少しずつ民間活用成果が発揮されてきている。区の直営としていく考えはない。

その他の質問項目 公募時の提案書などの公開 など

葛飾区民連合

公共施設の耐震問題と学齢期の歯科保健衛生指導

問今般の四川大地震の教訓を踏まえて、公共施設の耐震診断・補強は、どのような方針と計画で進めようとしているのか。

答本区では、平成7年の阪神・淡路大震災を教訓に耐震診断の方針を定め、多くの区民が利用する防災上重要な施設の耐震化に取り組んできた。避難所として特に重要な学校施設は、積極的に耐震化を進め、平成20年度には耐震化を完了予定である。学校以外の施設で耐震上問題があると推測される130棟の内30棟は既に耐震性を確保し、残り100棟は24年度までに耐震診断、27年度までに耐震改修を完了する予定である。

ユニバーサル社会における学校施設のあり方

問学校施設の手すり、スロープ、誰でもトイレなどの設置状況を伺う。

答これまでに、手すりは58カ所、スロープは19カ所、誰でもトイレは22カ所を整備してきた。今後、ユニバーサルデザインの考え方を十分踏まえ、高齢者や障害者にとっても、やさしい施設となるよう整備を進めていきたい。

その他の質問項目 学校施設におけるバリアフリー化 など

学齢期の歯科保健衛生指導

問小学一年生という機会を捉えて、子どもとその保護者を含めた歯科保健衛生指導を学校で実施し、家庭における啓発の機会を設けていくことが有効であるか考えるがどうか。



歯科保健衛生指導

答小学一年生が自ら正しい歯磨きを習得するためには、保護者を含めた啓発の機会を設ける必要がある。親子むし歯予防教室を授業参観日に実施するなど、保護者が参加しやすい環境づくりも大事である。現在、改定作業中の教育振興ビジョンに歯磨き指導を盛り込んでいきたい。

その他の質問項目 歯科保健衛生指導の体制改善 など

次の定例会は9月中旬開催予定です

可決された議案等

議案名下の分は意見の分かれた議案
(各会派の賛否は下表参照)

【区長提出議案等 18件】

一部を改正する条例 9件

▼特別区税条例分

地方公共団体に対する寄附金税制の見直しなど、地方税法の改正に伴い、所要の改正をする。

▼事務手数料条例

学術研究のための戸籍等に関する情報の提供に係る手数料を定める。

▼ひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例

中国残留邦人等支援法(中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律)の改正に伴い、対象者の範囲を改める。

▼子どもの医療費の助成に関する条例

中国残留邦人等支援法の改正に伴い、対象者の範囲を改める。

▼区営住宅条例

中国残留邦人等支援法の改正に伴い、使用者の資格を改める。

▼「特別区道」道路占用料等徴収条例

道路法施行令の改正に伴い、規定の整備をする。

▼区立児童遊園条例

さつき児童遊園(東堀切二丁目17番7号)を廃止する。

▼区民農園条例

南水元農園(南水元二丁目7番)を廃止する。

▼亀有南駐車場条例分
金町南駐車場(金町六丁目2番1号)の新設に伴い、所要の改正をする。

契約 6件

▼新小岩東北自転車駐車場(仮称)建築工事請負

▼区立保田しおさい学校耐震補強その他工事請負

▼区立金町中学校耐震補強その他工事請負

▼都市計画道路補助第138号線(東金町東)整備及び排水施設(その2)工事請負

▼IT基盤整備用パーソナルコンピュータの買入れ

▼固定系無線操作車の買入れ

▼地方自治法第179条第1項の規定に基づき専決処分した葛飾区特別区税条例の一部を改正する条例の報告及び承認

地方自治法第179条第1項の規定に基づき、平成20年4月30日に特別区税条例の一部を改正する条例を専決処分したので、同条第3項の規定に基づき、議案に報告し、その承認を求める。

▼その他 2件

▼土地開発公社定款の一部変更

監事の職務に関する規定の整備をするほか、所要の変更をする。

▼農業委員会の選任による委員の推薦

委員に、牛山正議員、谷野せいしろう議員を推薦することに決定

【議員提出議案 8件】

意見書 8件

意見書名下の分は意見の分かれた意見書(各会派の賛否は下表参照)

▼「クールアース・デー」(地球温暖化防止の日)の創設等を求める意見書

▼日本映画への字幕付与を求める意見書

▼携帯電話リサイクルの推進を求める意見書

▼新型インフルエンザ対策の強化を求める意見書

▼自殺防止の総合対策を推進する意見書

▼後期高齢者医療制度の改善を求める意見書

▼温室効果ガス削減中期目標を積極的にかかげることを求める意見書

▼違法・有害情報から子どもを守るための総合的な施策の推進を求める意見書

▼議員の派遣

地方自治法第100条第12項及び葛飾区議会会議規則第122条第1項の規定により、第63回広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式と、被爆63周年長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典に、議員を派遣することに決定

▼結果の出た請願

請願名下の分は意見の分かれた請願(各会派の賛否は下表参照)

▼「高年齢者に負担増と差別医療を強いる後期高齢者医療制度の中止・撤回を求める国への意見書」提出する

▼後期高齢者医療制度の改善を求める意見書

▼福祉人材の確保にむけた施策の充実を求める請願

地球温暖化防止のため夏の軽装に率先して取り組みます

区議会では6月1日から9月末日まで、上着・ネクタイの非着用を可とする省エネ対策の軽装(クールビズ)により、地球温暖化防止に取り組んでいます。

▼「高年齢者に負担増と差別医療を強いる後期高齢者医療制度の中止・撤回を求める国への意見書」提出する

▼後期高齢者医療制度の改善を求める意見書

意見の分かれた案件

(○賛成、×反対、一欠席)

件名	会派名()内は会派所属議員数								議決結果
	公明(11)	自民(10)	自区(6)	共産(5)	民主(4)	区民(2)	無(1)	無(1)	
条例									可決
▼葛飾区特別区税条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	一	○	
▼葛飾区亀有南駐車場条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	一	○	可決
請願									不採択
▼「高年齢者に負担増と差別医療を強いる後期高齢者医療制度の中止・撤回を求める国への意見書」提出する	×	×	×	○	○	○	一	×	
意見書									可決
▼後期高齢者医療制度の改善を求める意見書	○	○	○	×	×	○	一	○	

公明=葛飾区議会公明党、自民=自由民主党議員団、自区=自由民主党区民会議、共産=日本共産党葛飾区議会議員団、民主=民主党葛飾、区民=葛飾区民連合、無=無所属

区議会だよりに記載の会派等の構成議員をお知らせします

会派名	構成議員名
葛飾区議会公明党	荒井 彰一、上原 ゆみえ、牛山 正夫、大塚 武、くぼ 洋子、黒柳 じょうじ、小山 たつや、藤 初夫、杉 浦 よう子、出口 よしゆき
自由民主党議員団	秋本 こうたろう、秋家 聡明、安倉 俊一、池田 ひさよし、石井 みさお、大森 義明、加藤 のぶたか、西沢 俊次、谷野 せいしろう、新井 秀男
自由民主党区民会議	会田 浩貞、梅 沢 五十六、小用 進、清水 忠、新村 秀男
日本共産党葛飾区議会議員団	中江 秀夫、中村 しんご、野島 英夫、三小田 准一、渡辺 好枝
民主党葛飾	内田 たかし、小林 ひとし、早川 久美子、米山 真吾
葛飾区民連合	大高 たく、むらまつ 勝康
無所属(記載順が先のもの)	石田 千秋
無所属(記載順が後のもの)	工藤 きくじ

広報委員

- 委員長 秋本こうたろう
- 副委員長 上原 ゆみえ
- 委員 杉浦 よう子
- 委員 安西 俊一
- 委員 新村 秀男
- 委員 中江 秀夫
- 委員 内田 たかし
- 委員 菱沼 実

次の「かつしか区議会だより」は11月発行予定です